



# 西洋経済史A(坂出)

## 第10講 救貧法と労働者階級

2004年6月25日

1



## 前回の講義

- 第9講 穀物法と自由貿易体制  
演習問題「穀物法をめぐるマルサスとリカードウの論争を論じなさい」
- 1 重商主義から自由貿易体制
- 2 穀物法(the Corn Laws)廃止
- 3 自由貿易体制の試練

2



## 本日のテーマ

- 『経済史入門』8章2・3 10章3
- 演習問題「救貧法(1834年)の実効性について論ぜよ」
- 産業革命は労働者にどのような影響を与えたか？それに対して、労働者・工場主・政府はどのような対応を示したか？
- 1 ラダイト運動
- 2 救貧法
- 3 工場法と労働者階級

3



## 【1】ラダイト運動

1. 自治都市におけるギルド
2. 産業革命のインパクト
3. ラダイト運動

4



## 【2】救貧法

1. 旧救貧法体系
2. 産業革命のインパクト
3. 新救貧法

5



## 【3】工場法と労働者階級

1. 工場改革
2. 工場法
3. 労働者階級の運動

6



## 小括

- 地主階級 トーリー党 →保守党 ディズレーリ
- ×(穀物法・選挙法改正)
- 中産階級 ホイッグ党 →自由党 グラッドストーン
- 登場してきた労働者階級は、中産階級の対地主階級の対立において利用されていく。
- この3グループは、世紀転換期のボーア戦争介入問題をめぐって相抗争する。

7



## 次回のテーマと演習問題

- 第11講 ボーア戦争と大英帝国
- 演習問題「ボーア戦争が大英帝国に構造に与えた影響について論ぜよ」
  
- 堀江英一『経済史入門』11章

8